2017年３月期

決算説明会

2017年6月１日

日本パーカライジング株式会社
NIHON PARKERIZING CO.,LTD.

目次

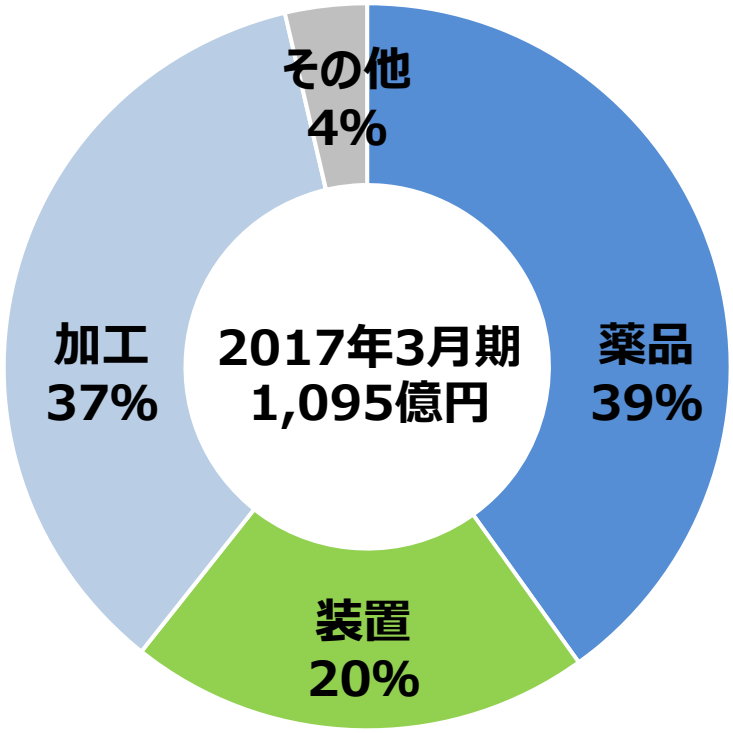
- 会社概要
- 2017年3月期決算概要
  - 連結業績の推移
  - 連結業績 前期比較
  - 営業利益の増減要因
  - セグメント別・所在地別損益　前期比較
  - 設備投資の状況
  - 研究開発の状況
  - 連結貸借対照表　前期比較
- 2018年3月期　業績予想
- 株主還元
- 第二次中期経営計画達成に向けた取り組み
  - 第二次中期経営計画基本方針
  - 事業基盤の強化・拡大
  - 技術立社
  - 企業体質の基盤強化
  - 第二次中期経営計画　数値目標
- 参考資料
- 質疑応答

会社概要（1/2）

会社名	日本パーカライジング株式会社
代表取締役会長	小野 駿
代表取締役社長	里見 多一
本社所在地	東京都中央区日本橋１－１５－１
創立	１９２８年（昭和３年）７月１２日
資本金	４５億６千万円（２０１７年３月現在）
売上高	1,095億円（２０１7年３月期）
上場	東証一部１９６７年
その他	ＪＰＸ日経４００構成銘柄（2014年1月組入） グローバルニッチトップ企業１００選（2014年3月認定）

当社は、1928年に創業し、2018年で90周年を迎えます。日本パーカライジングは、1915年に、米国のDr.Parker氏が開発いたしました、鉄にリン酸塩皮膜を施し、錆びを防止する技術の国内におけるパテントを譲り受けたことからスタートいたしました。当初は、主に陸軍省へこの技術を展開しておりましたが、戦後のモータリゼーション等の発展に伴い、当社事業も拡大してまいりました。

会社概要（2/2）事業内容と売上構成割合

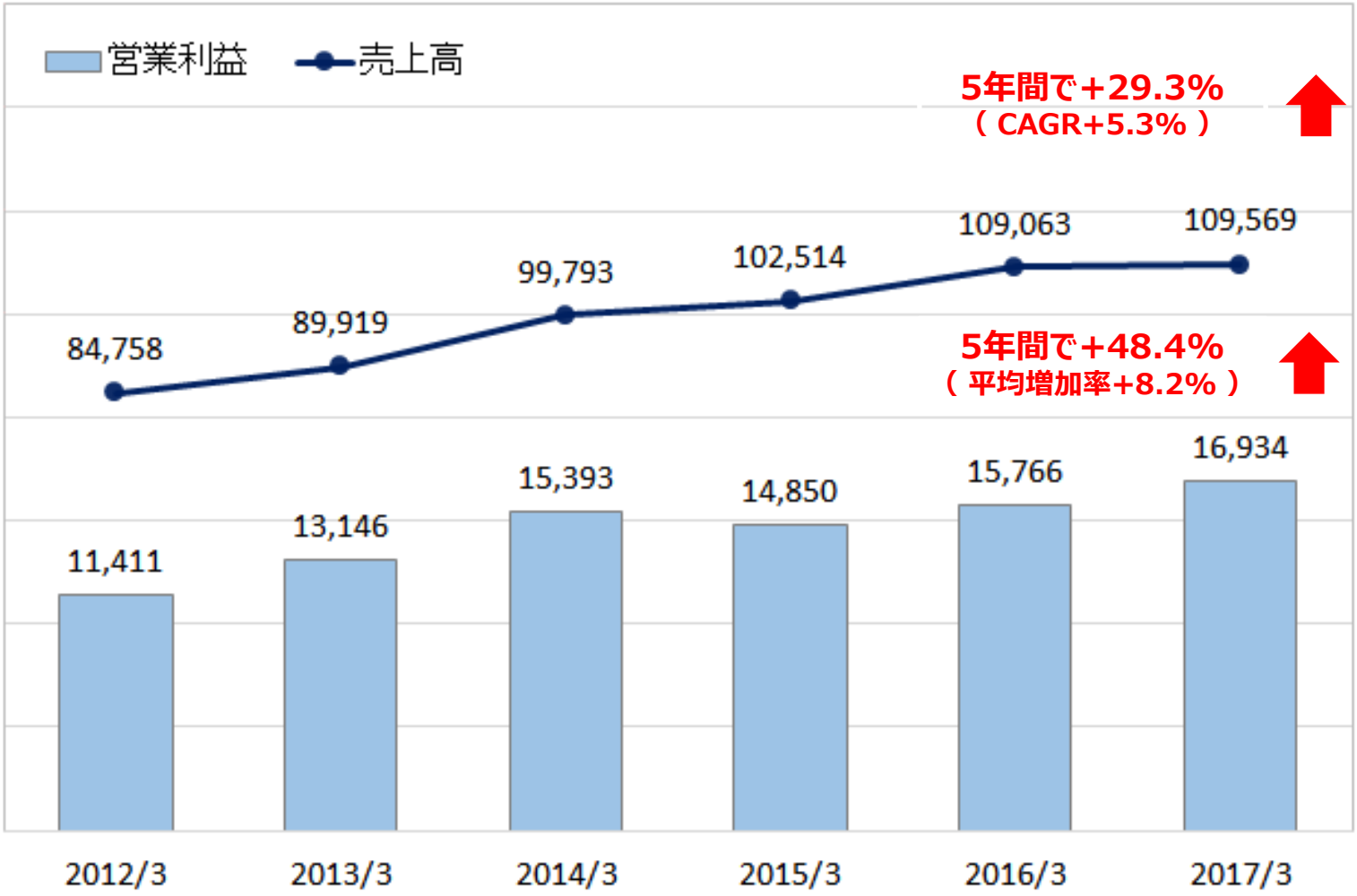


セグメント別売上高

薬品事業	化成処理薬剤 圧延潤滑油 防錆油 無電解めっき液
装置事業	前処理/電着塗装装置 排水処理設備 粉体塗装装置 熱交換器
加工事業	防錆加工 めっき加工 熱処理加工 塗装加工
その他事業	建物のメンテナンス工事 金属板試験片の製造販売 ボルトの製造販売 鉄鋼製品の輸出

連結業績の推移

（単位：百万円）



売上高および営業利益ともに過去最高額を更新

連結業績 前期比較

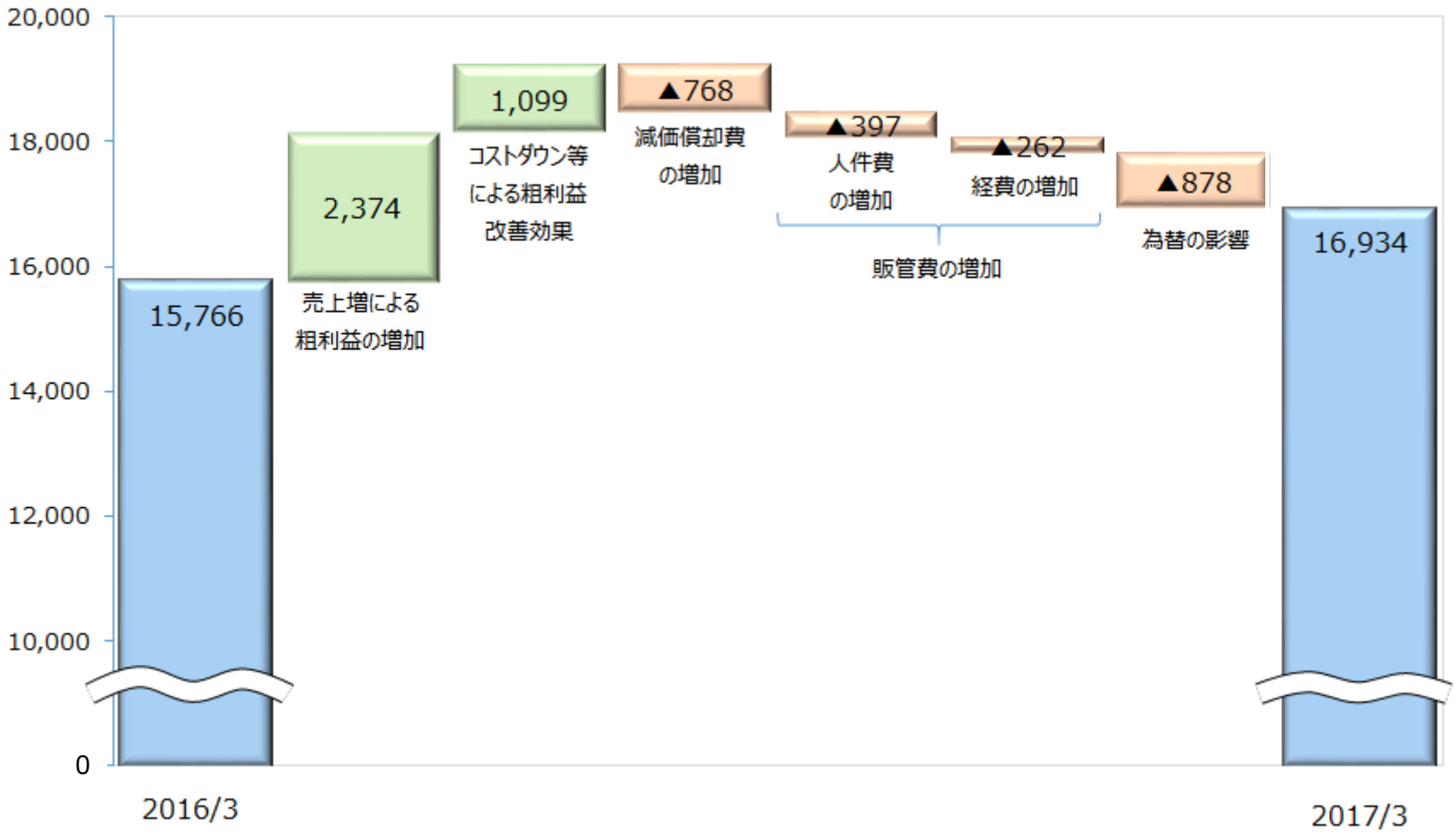
（単位：百万円）

項　　目	2016/3	2017/3	増減	増減率	
売　上　高	109,063	109,569	+505	+0.5%	過去最高額を更新
営　業　利　益	15,766	16,934	+1,167	+7.4%	過去最高額を更新
経　常　利　益	17,921	18,779	+858	+4.8%	過去最高額を更新
親会社株主に帰属する当期純利益	10,320	12,228	+1,907	+18.5%	特別利益1,359百万円を計上
総資産経常利益率	9.5%	9.7%	+0.2%		8%以上で推移
1株当たり利益	83.24円	99.14円	+15.90円		
期中平均レート（USD）	121.05円	108.84円			

円高による影響：売上高▲約59億円、営業利益▲約8億円

営業利益の増減要因

（単位：百万円）



セグメント別・所在地別損益　前期比較

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2016/3	2017/3	増減	2016/3	2017/3	増減
薬品	44,861	44,549	▲ 311	8,529	8,973	443
日本	26,447	27,508	1,061	4,984	5,478	493
海外	17,294	15,840	▲ 1,454	3,245	3,209	▲ 35
ｾｸﾞﾒﾝﾄ間売上等	1,119	1,200	81	299	285	▲ 14
装置	22,964	22,382	▲ 581	1,403	1,580	176
日本	11,009	12,889	1,880	438	604	165
海外	11,420	8,989	▲ 2,430	728	791	63
ｾｸﾞﾒﾝﾄ間売上等	534	503	▲ 30	236	184	▲ 51
加工	38,928	40,211	1,283	6,977	7,335	358
日本	22,187	24,015	1,828	4,142	4,682	540
海外	16,736	16,163	▲ 573	2,687	2,469	▲ 218
ｾｸﾞﾒﾝﾄ間売上等	4	32	27	147	183	36
その他	5,029	5,252	223	269	288	18
調整	▲ 2,720	▲ 2,827	▲ 107	▲ 1,413	▲ 1,242	170
合計	109,063	109,569	505	15,766	16,934	1,167

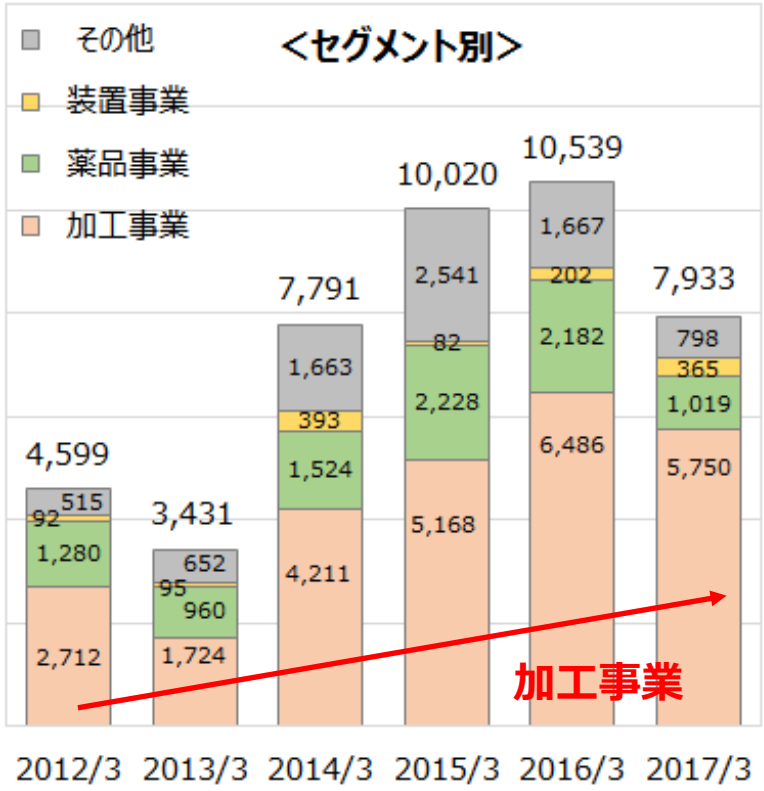
薬　品　：　国内：自動車生産の回復と鉄鋼輸出の改善などにより、増収増益で推移
海外：円高の影響もあり減収減益となったが、現地通貨ベースでは売上を拡大

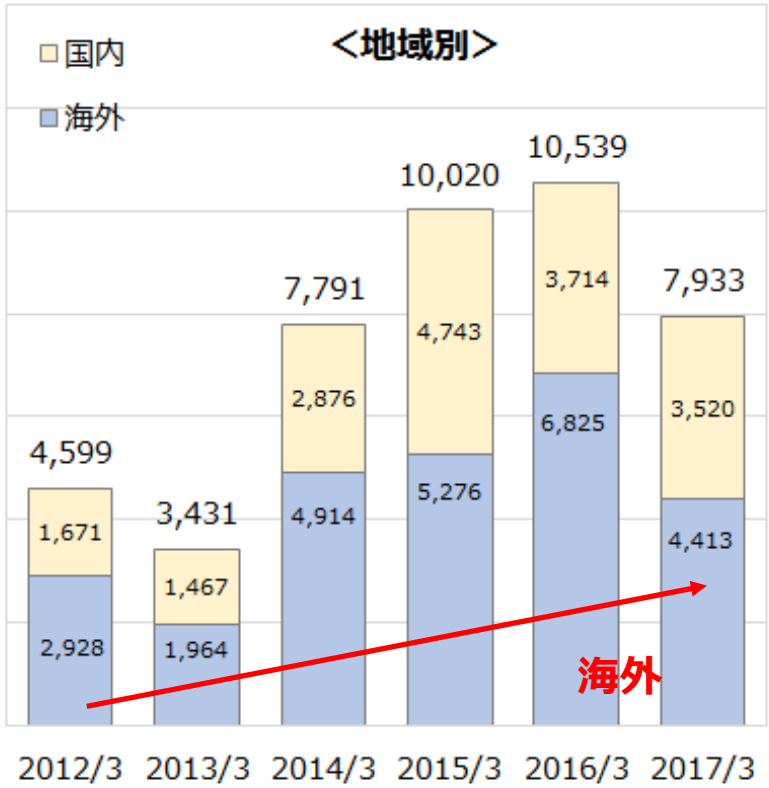
装　置　：　国内：増収増益で推移
海外：大型物件の減少により減収となったが、コスト削減により増益

加　工　：　国内：自動車部品の加工処理の需要回復から堅調に推移
海外：為替の影響を受け減収減益となったが、現地通貨ベースでは需要拡大

設備投資の状況

（単位：百万円）

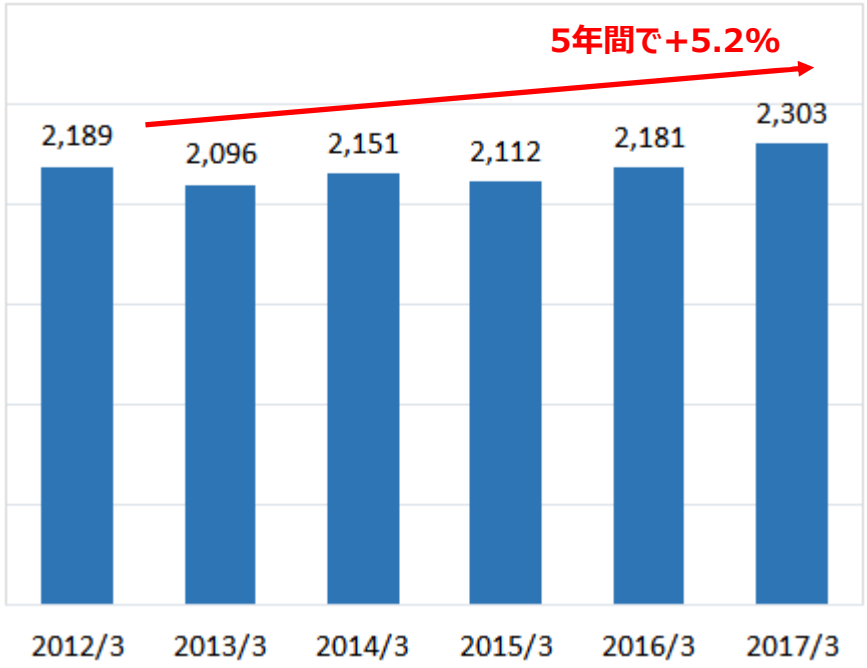




- 近年、旺盛な海外需要を着実に捉えるため、メキシコ、中国、タイ、米国などを中心に生産設備を増強
- 2017年3月期は、国内においても、熱処理事業の受注拡大のための設備投資を実施

研究開発の状況

（単位：百万円）



- 素材の表面に機能を付与するという「新たなる価値の創造」を念頭に開発を行っており、研究開発に毎期20億円以上を継続的に投資
- 将来の成長分野を意識した研究テーマの選別により、次世代自動車／新市場への参入拡大のための研究開発を強化

連結貸借対照表　前期比較

(単位：百万円)

	2016/3	2017/3	増減
流動資産	94,053	97,021	2,968
固定資産	95,323	100,238	4,915
有形無形固定資産	56,079	56,978	899
投資その他の資産	39,244	43,260	4,015
資産合計	189,377	197,260	7,883
流動負債	33,166	33,562	395
固定負債	18,320	17,196	▲ 1,124
負債合計	51,487	50,758	▲ 728
純資産	137,890	146,502	8,612
株主資本	107,220	113,291	6,070
その他包括利益	9,262	10,006	743
非支配株主持分	21,406	23,204	1,797
負債･資本合計	189,377	197,260	7,883

＜主な増減＞

売上債権の増加　＋3,057

投資有価証券の増加　＋5,882

自己株式の取得による減少　▲4,023
配当による減少　▲2,398
利益の計上による増加　＋12,228

その他有価証券評価差額金　+2,230
為替換算調整勘定　▲1,483

2018年3月期　業績予想

（単位：百万円）

項　　目	2017/3 実績	2018/3 予想	増減	増減率
売　　上　　高	109,569	110,000	+430	+0.4%
営　業　利　益	16,934	17,000	+65	+0.4%
経　常　利　益	18,779	19,500	+720	+3.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,228	11,400	▲828	▲6.8
期中平均レート（ＵＳＤ）	108.84円	110.00円		

＜前提＞
- 国内：前年並みで推移
- 海外：熱処理事業の拡大等により増収

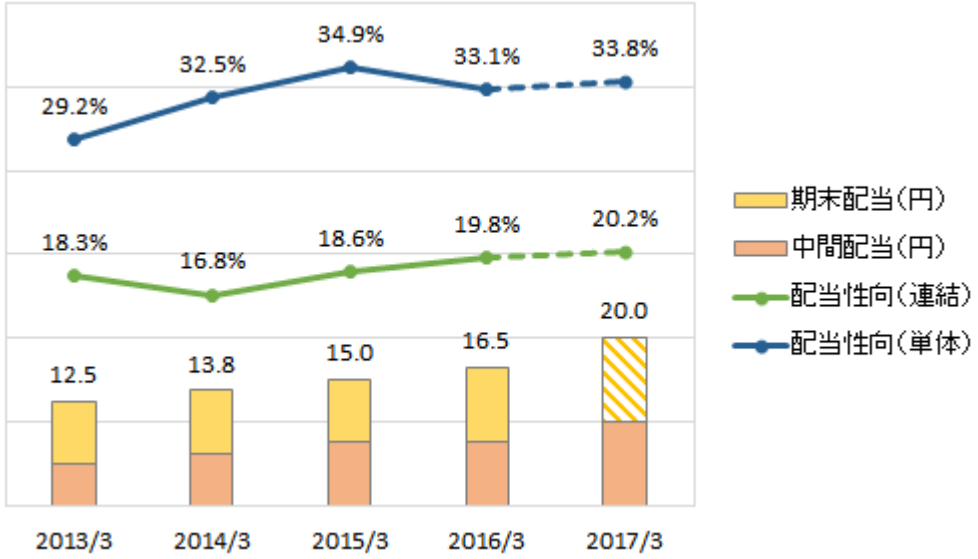
株主還元

■ 配当方針

- 安定的な配当の継続を重視し、業績動向及び配当性向など総合的に勘案し利益配分を決定しております。
- 財務体質強化と将来の利益確保に備えるべく内部留保にも努めており、内部留保した資金は、市場ニーズに対応した研究開発や市場の要求する品質コストを実現するための設備投資に活用しております。
- 配当につきましては、単体ベースでの配当性向30%を目処に、連結業績も十分考慮した上、将来の事業展開及び収益水準を勘案しつつ決定してまいります。

■ 2017年3月期 配当予定

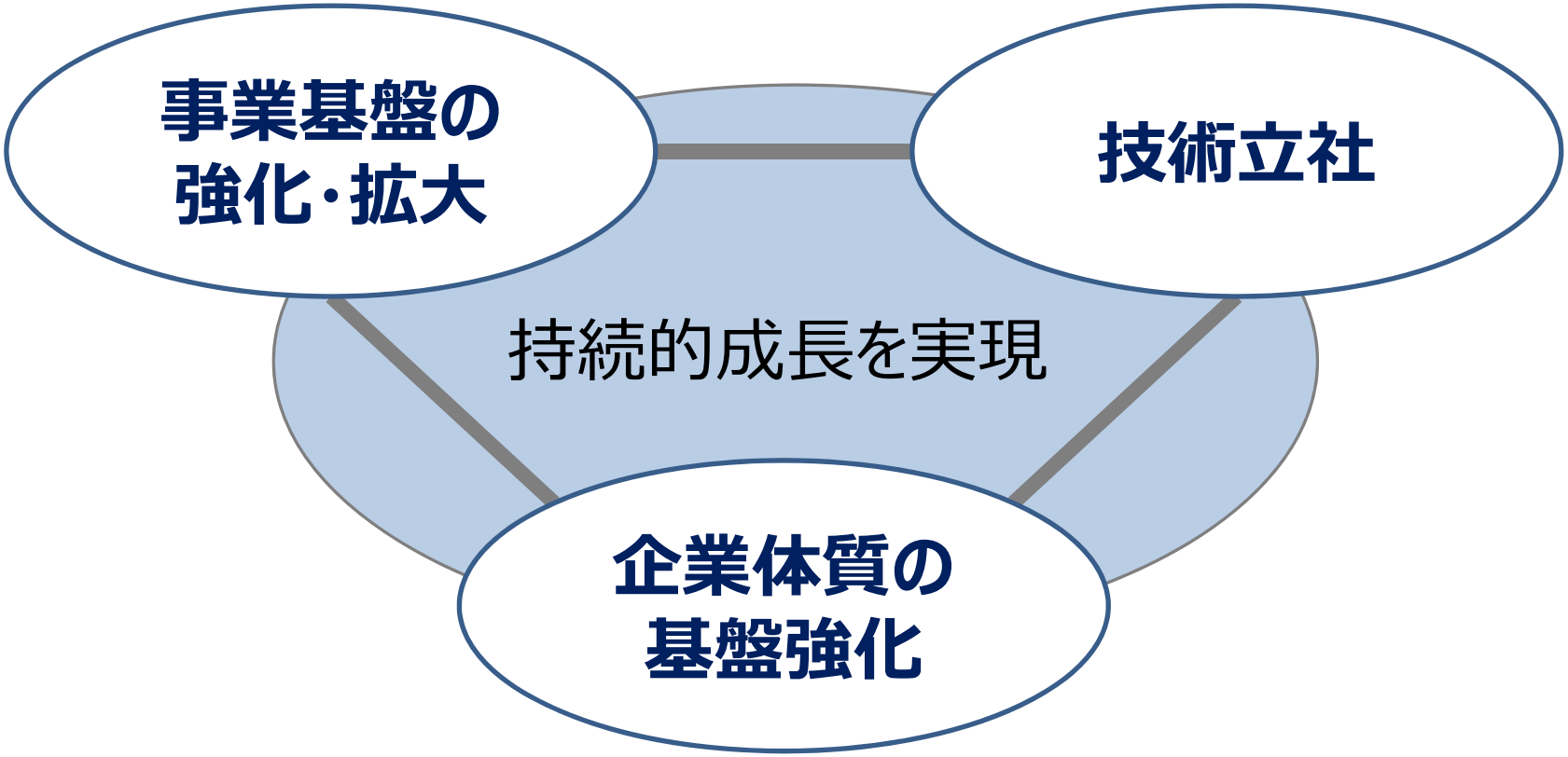
中間配当（実績）	期末配当（予定）	合計
１０.０円	１０.0円	２０.０円



第二次中期経営計画達成に向けた主な取り組み（1/4）

＜第二次中期経営計画基本方針＞

あらゆる素材の表面改質の分野で市場における技術的な優位性を維持し、
表面改質分野に於けるグローバル・リーディング・カンパニーを目指す！



第二次中期経営計画達成に向けた主な取り組み（2/4）

事業基盤の強化・拡大

- 新規市場への参入・拡大
  - 自動車業界以外の市場（航空機、エレクトロニクス、防衛、医療分野など）への参入・拡大
- 成長市場である海外需要の確実な取り込み
- 経営資源の最適配置による競争力強化
- 新たなビジネスモデルの創出に挑戦
- M&Aやアライアンスを積極的に検討

航空機

エレクトロニクス

無機有機系化学薬品の受託製造

第二次中期経営計画達成に向けた主な取り組み（3/4）

技術立社

■ 将来を見据えた研究開発テーマへの選定

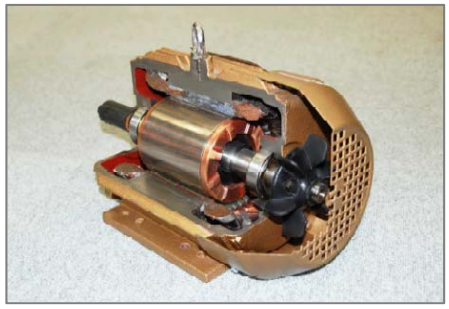
■ 新規市場参入拡大のための技術開発

- 防錆以外の絶縁性、通電性、親水性、耐指紋性、意匠性などの多様な機能開発
- 環境ニーズへの対応（耐久性向上、高機能化、エネルギー効率向上、クロムフリーなど）

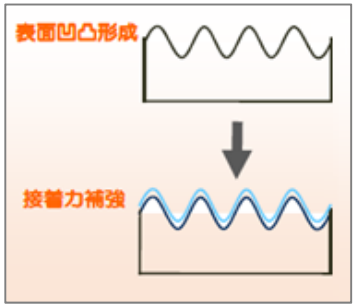
■ 基礎研究の強化

- 次世代自動車・航空機市場向け製品の開発
- 非鉄素材、異材との接着・接合
- 有機皮膜の開発

絶縁性・耐熱性向上



異材との接着力補強



有機皮膜の開発

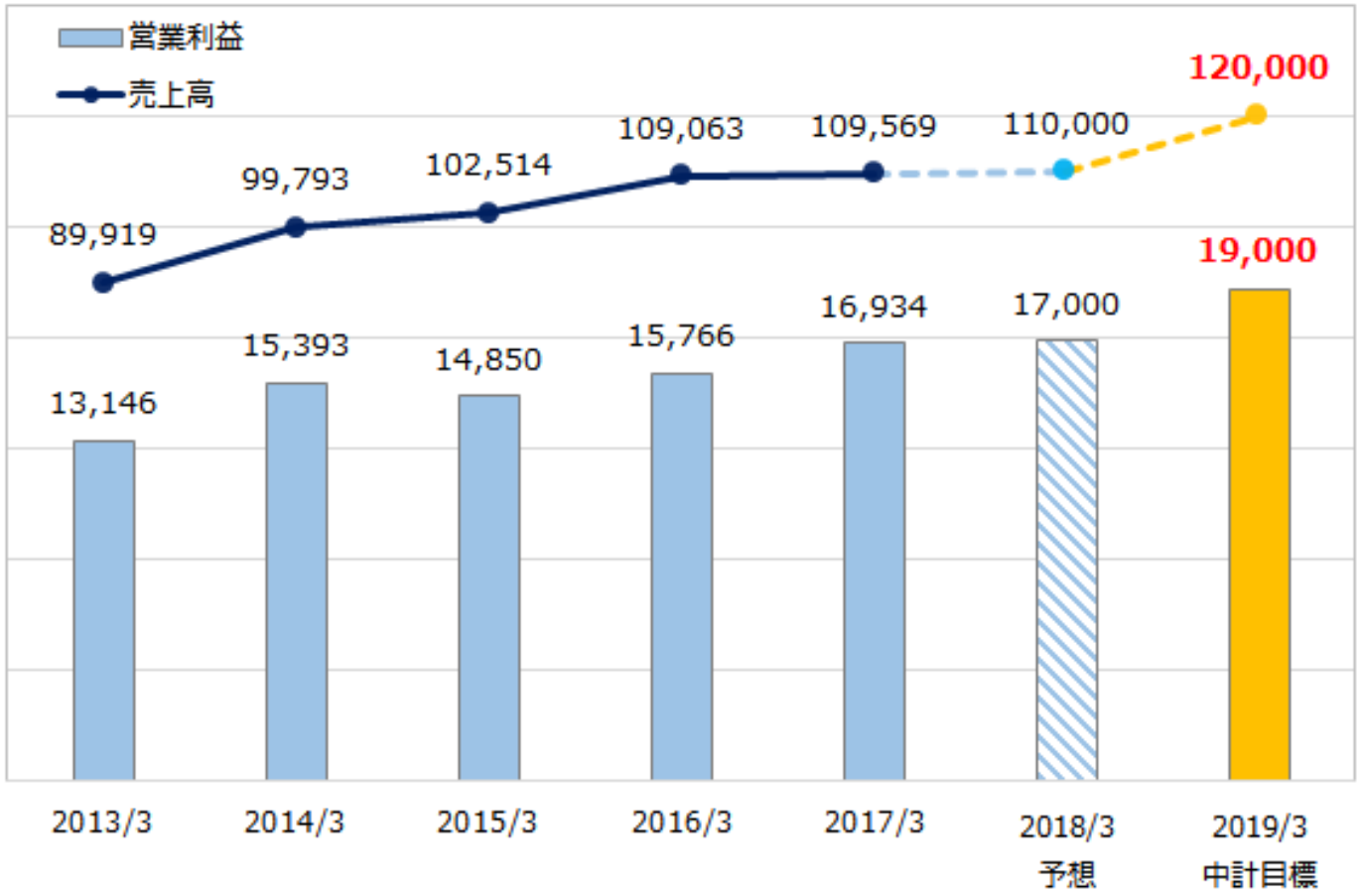
第二次中期経営計画達成に向けた主な取り組み（4/4）

企業体質の基盤強化

- コーポレートガバナンスコードへの継続的な取り組みによるガバナンスの向上
- 監査等委員会設置会社への移行
- グローバル人材の育成
- グループ連携の強化
- 生産性の向上、企業風土・意識改革

第二次中期経営計画　数値目標

（単位：百万円）

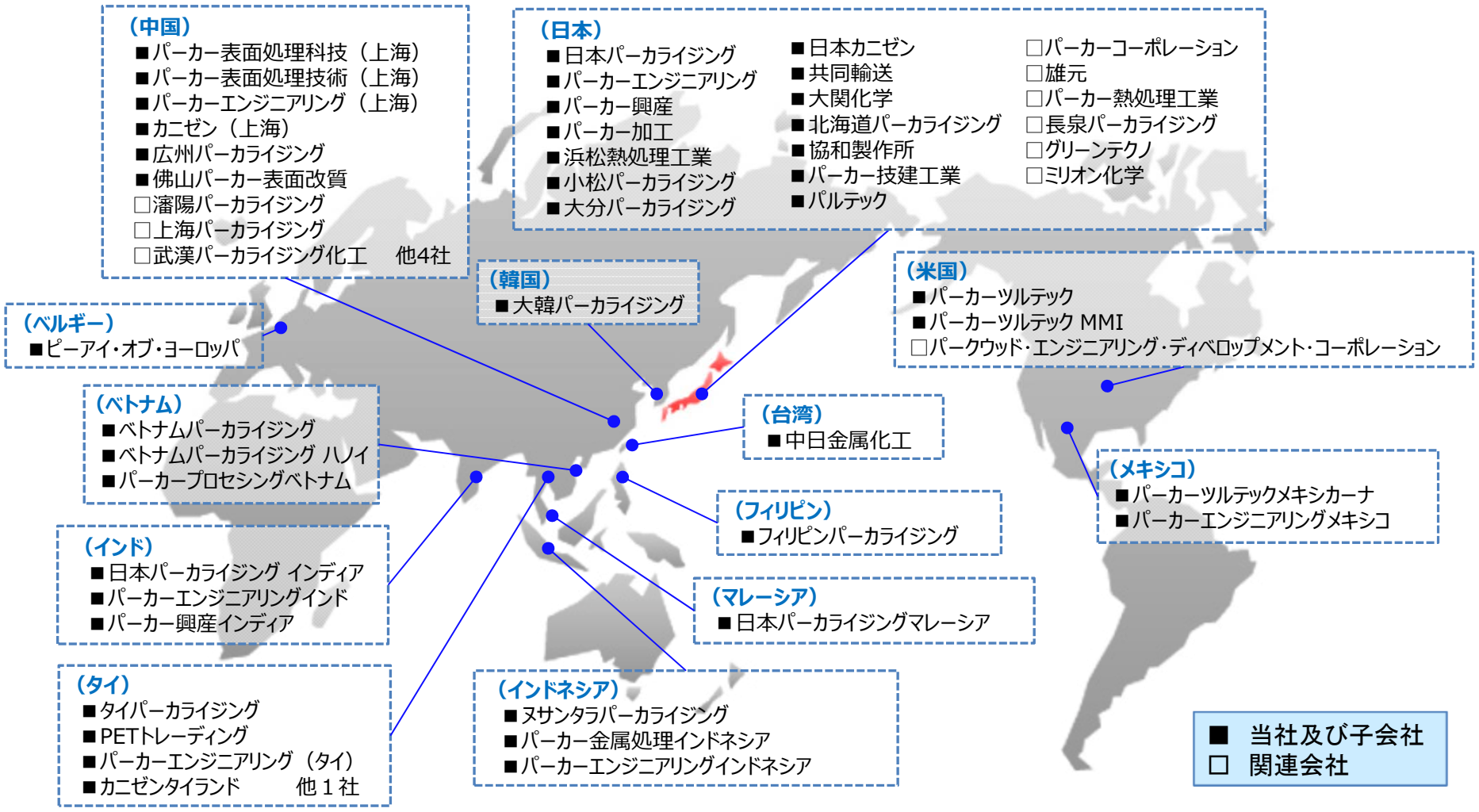


グループ一丸となって中期経営計画を強力に推進し、持続的成長を実現！

参考資料

（参考）関係会社一覧　（2017年3月31日現在）

子会社44社、関連会社12社のネットワーク



パーカーグループは、様々な課題を表面技術で解決します。
お客様のお悩みを…
腐食を防止したい
部品を軽くしたい
材料を変更したい
表面特性を変えたい
強度を上げたい
コストを抑えたい
環境負荷を抑えたい
パーカーが解決します!
水になじむ～水をはじく
電気を通す～電気を通さない
くっつく～くっつかない
錆びない～錆びさせる
すべる～すべらない
硬くする～柔らかくする
熱を逃がす～熱を遮る

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、ａ）経済状況、ｂ）為替レートの変動、ｃ）製品競争力、ｄ）法的規制、ｅ）知的財産保護の限界などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。